

在宅医療を考える！

在宅医療って、なあに？

ひと言で言えば・・・住み慣れた自宅で医療を受けること！

病気になると、入院すれば医師や看護師がいて安心だ、
と言う声をよく聞きます。その一方、住み慣れた我が家
で・・・いつまでも過ごしたい。

できれば人生の最後も自宅で迎えたいと望んでいる人も
多くおります。

しかし人生の最後を、住み慣れた我が家で迎える方は、



現在とても少ないのが現状です。

多くの方の望みを叶えるためには、何が必要で
しょうか？

自宅で安心安全に生活するために、また療養が
できるようになるために・・・

みんなで考えて行きましょう！！

《在宅医療・介護のよいところ》

- 見慣れた顔、聞き慣れた声のご家族がいる
環境で、過ごせる。
- マイペースで生活できる。
- 住み慣れた環境で医療が受けられる。
- 一般的に、入院より費用負担が少ない。
- 痛みの緩和も在宅医療でできる。
- ご家族はお見舞いの負担がなくなり、自分の
ペースを保ちながら、在宅での介護を継続。
- 自宅で最期を迎える事もできる。

《在宅医療・介護の心配なところ》

- △ ご家族による毎日の介護の負担がある。
- △ 患者さんの容態が急に悪くなった時
の心配がある。

こんな時はサービスを利用し、
負担を軽減しましょう！

在宅医療を受けたい時の相談は？



入院中の時は・・・主治医や看護師、ソーシャルワーカーに相談しましょう。

入院していない時は・・・かかりつけ医、地域包括支援センターに相談しましょう。

在宅医療で受けられる事は？

- 訪問診療（医師による診察）
- 訪問看護（血圧、全身状態の観察、輸液の管理など）
- 訪問リハビリ（寝たきりや床ずれ予防の運動）
- 訪問歯科診療
- 訪問介護（入浴介助や身の回りの世話他）
- 通所介護
- 通所リハビリ
- 等など